

尼崎運河 10 周年記念事業

「運河の魅力再発見プロジェクト」認定（平成 19 年 4 月）や「尼崎運河再生プロジェクト基本計画」策定（平成 20 年 5 月）から 10 周年を迎えることから、2 カ年にわたり記念事業を集中的に実施

【平成29年度】

①運河博覧会（うんぱく）2017の開催

尼崎運河を広く市民に知ってもらい、その魅力アップにつなげるため、運河博覧会を開催

- ・開催時期：平成29年5月頃
- ・開催内容：運河クルージング、オープンカフェ、参加型ステージ 等



【運河博覧会】

②尼崎運河オープンチャネルフェスティバルの開催

地域のにぎわい創出や交流促進のため、尼崎運河で水質浄化に取り組む大学、市民団体等と連携し、オープンチャネルフェスティバルを開催

- ・主 体：尼崎運河〇〇(まるまる)クラブ
- ・開催時期：平成29年10月頃
- ・開催内容：水質浄化活動の報告会、運河での各種体験会、夜間ライトアップ 等

③水質浄化プロジェクトの推進

「全国運河サミット2018」での成果発表と行動宣言の作成に向け、尼崎運河水環境改善の協定を締結している徳島大学とともに共同研究を実施

④ボードウォークの改修

「全国運河サミット2018」の会場となる北堀運河チャネルベース周辺の老朽化したボードウォークを改修

【平成30年度】

○全国運河サミット2018の開催〔新規〕

運河を利用したまちづくりの未来を考えるサミットを開催(29年度は、開催に向けた準備活動を実施)

- ・時 期：平成30年11月頃
- ・参加者：全国各地で運河の環境再生や利活用に取り組む学識者、市民、自治体 等
- ・内 容：取組事例の発表、行動宣言の採択、関連イベント 等

尼崎運河はこんなにすごい！



【尼崎運河】

兵庫県の産業を支える「尼崎運河」

尼崎臨海地域には、北堀・中堀・東堀・西堀・南堀の5つの運河があり、蓬川・庄下川・旧左門殿川の3つの河川をあわせた全延長は12.4kmになります。これらの運河や河川は、古くから水運に利用されてきました。

高度成長期には、尼崎臨海地域を阪神工業地帯の中核として発展させる重要な役割を担いました。全国の運河が観光地化されるなか、現在でも年間約7,000隻の貨物船等が通航する貴重な運河です。

また、土地の低いこの地域を高潮や豪雨による浸水から守る防潮堤としても重要な役割を果たしています。特に尼崎閘門（尼ロック）は、日本最大級のパナマ運河方式の閘門であり、運河の物流機能を維持するとともに、防災の拠点として高潮や津波からまちを守っています。



【尼ロック】

尼崎運河の未来

尼崎臨海地域では、森と水と人が共生する環境創造のまちづくりをめざして、「尼崎21世紀の森構想」が平成14年に策定されました。

尼崎運河でも、「21世紀の尼崎運河再生プロジェクト基本計画」（平成20年）に基づき、緑化や遊歩道、水質浄化施設等の整備が進み、水質浄化活動を中心としたまちづくり活動に取り組んだり、運河博覧会など運河を舞台としたイベントや、パドルボードなどのウォータースポーツを楽しむ皆さんが増えています。

県政150周年にあたる平成30年には、全国運河サミットを尼崎市で開催し、運河の環境再生や利活用に取り組む全国各地の皆さんとともに、運河を活用したまちづくりの未来を考えます。



【うんぱく（尼崎運河博覧会）】